

住まいの絵本から 子どもと 空間の使い方を見る！

子ども部屋って 何をするとこる？

住まいの絵本館 × 旭化成ホームズ
2018.02.22



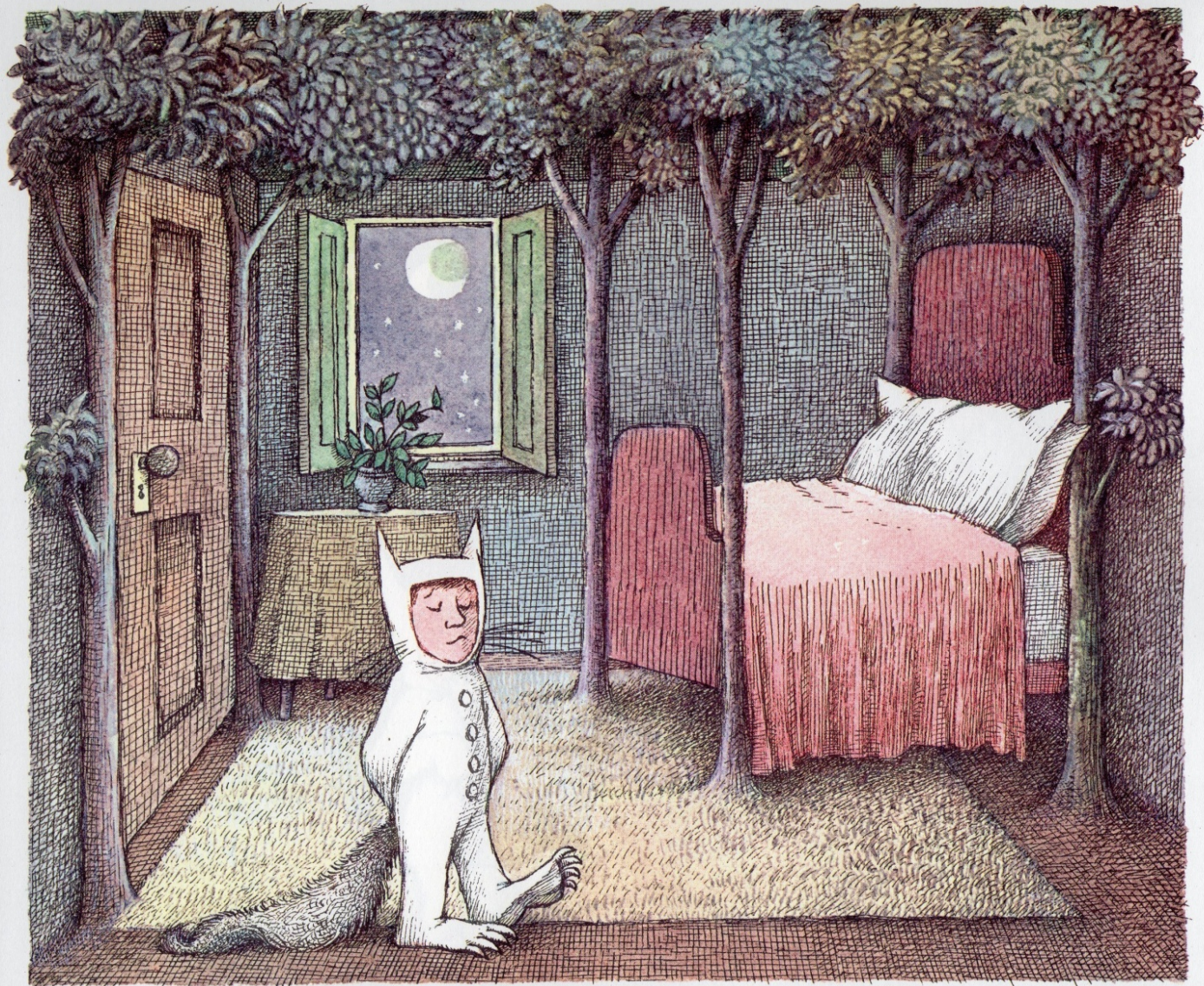
NPO法人子どもと住文化研究センター代表
大阪市立大学名誉教授 北浦かほる

かいじゅうたちのいるところ



モーリス・センダック さく じんぐうてるおやく





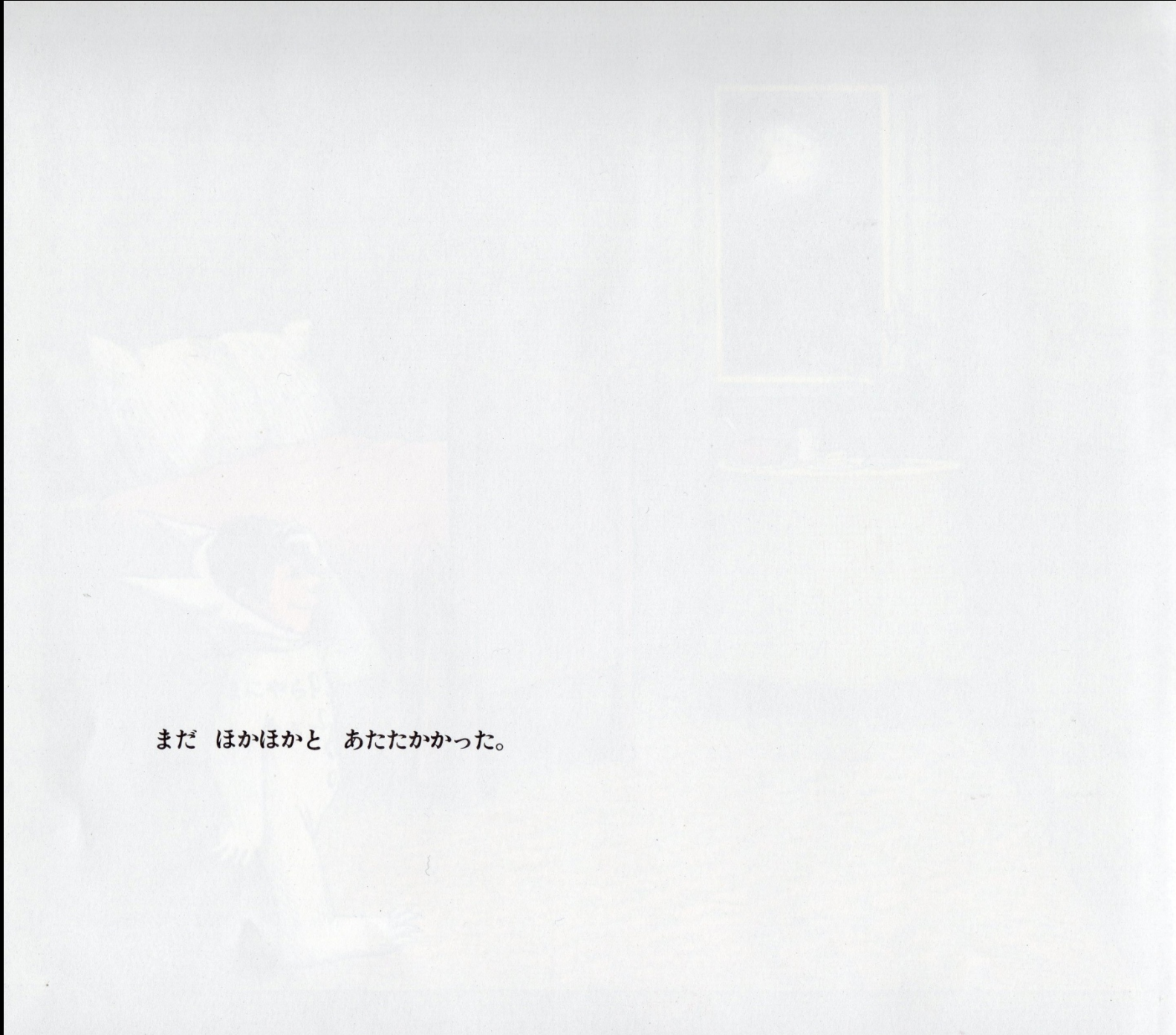










A faint, atmospheric illustration of a room. In the background, a window with a yellow frame is visible, showing a bright light source. In the foreground, a figure is partially visible, appearing to be sitting or lying down, with a dark, possibly blue or black, garment. The overall scene is very light and hazy, with a soft, ethereal quality.

まだ ほかほかと あたたかかった。

● 空間の役割と親の役割(欧米)

1. (罰)子ども部屋に閉じこめる→反省
2. ひとり(空想)→欲求不満からの開放
3. 空想の旅→ 心の成長
4. 父親の存在 ←人の足をもつ怪獣
5. 温かい現実の存在 ←夕食の匂い
母胎回帰→ 新生の場所
6. 親が、子どもの気持ちに寄り添う
→強い信頼関係 (bedtime-story)

● 日本の子ども部屋の起源

- 大正デモクラシー（生活改良思潮） 「小児室」
医者が衛生面から提唱
- 戦後 個室 …… 健全な子どもが育つ
- 70～80年代 子どもの非行化 → 個室批判
（家庭内暴力児、登校拒否児、バット殺人…）
子どもの問題が社会問題化する

日本の子供室は 勉強部屋

親子川の字就寝の浸透が影響



現在 リビング子ども室 = リビング勉強室

子ども室は不要 ← 東大に入るには

空間認知実験→ 米国の子ども部屋調査から



11歳と13歳の兄弟の屋根裏の子ども部屋(米)



子どもの思いがあふれている屋根裏の室内(米)



ベースメントに自分でつくった子ども部屋
兵役志願のアメリカの高校生(17歳)

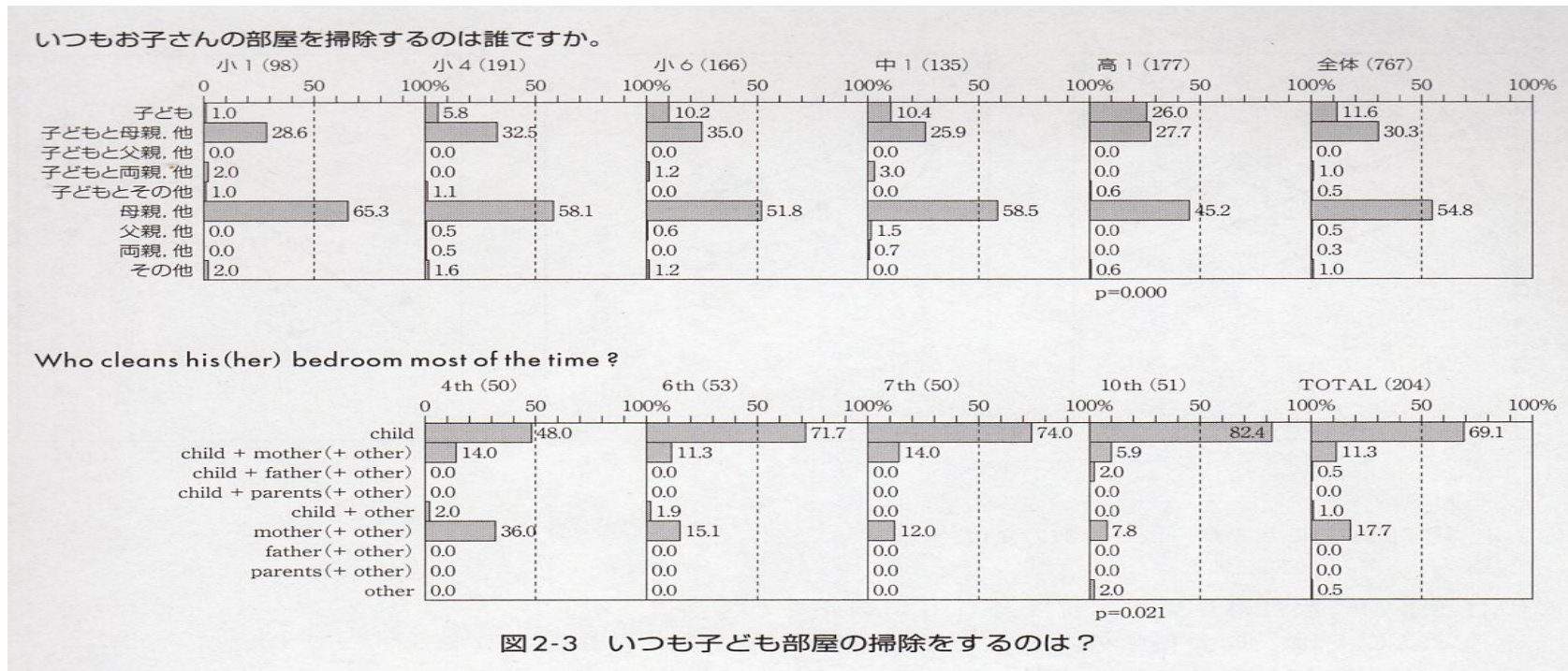
欧米の調査から判明した

● 子ども部屋の位置づけ

- 子ども室は → 親が子に貸し与えている
 - 子どもの生活や就寝の場所
 - 心を落ち着け自省する場所
- ・欧米の子ども部屋 → 罰として閉じこめる
日本では → 家から閉め出す
- 欧米の親が、養育態度を実践する場所
- 「自律と自己主張」
 - ① 自己主張させる
 - ② ほめる (self-esteem)
 - ③ ルールに従った躰け (破った時の罰)
- ・ルールは同じでも、具体的な内容は家によって千差万別
多様性 ex. 門限時刻など

子ども室の実態も考え方も、日本と欧米では大きく違っている

●子ども部屋の掃除は誰がしていますか？



● 子どもに空間を使わせると共に、

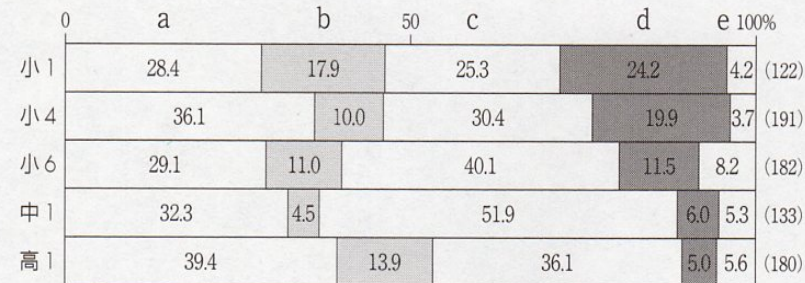
① 使い方のルールを決める→行動と責任

② 権利と義務を実行させる←空間のコントロール

- a. 扉の開閉→入室許可、ノックの必要性
- b. 人や物の侵入をコントロール
- c. 寝室の掃除
- d. 寝具の整理
- e. 衣類の収納管理
- f. 家具配置や模様替え
- g. 壁に貼る物の決定

●アメリカでは 親の権威が強い

あなたのことをお母さんが勝手に決めたとき、どうしますか。(日本)

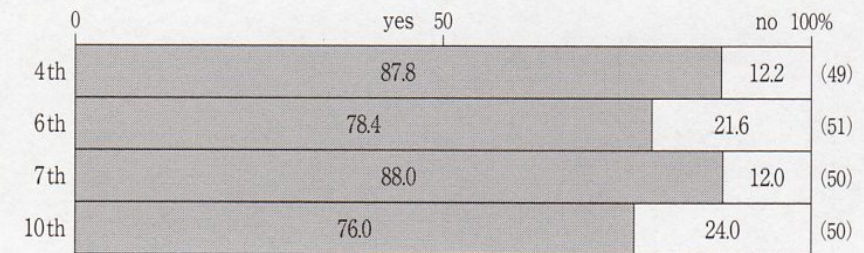


p=0.000

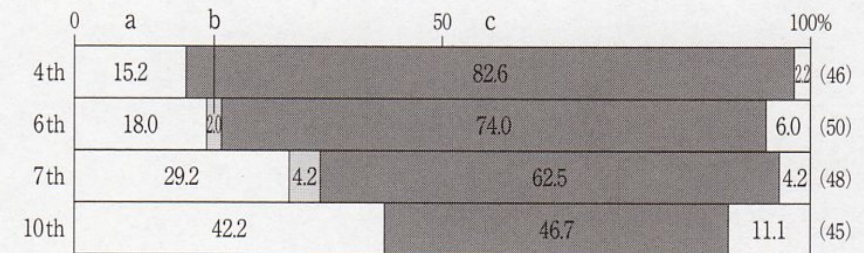
- a) わけを聞いてわかればする
- b) 文句を言ってしない
- c) 文句を言いながらする
- d) 親の言う通りにする**
- e) 聞き流す・無視する

米国では親の権威が強く理由を問わず親の言う通りにする子どもが多い。

Do you follow what your mother tells you to do? (アメリカ)



p=0.258



p=0.018

- a) I ask her the reason. And if I agree, I do what she says.
- b) I do not do what she says because she did not tell me the reason.
- c) I do without asking about the reason.**
- d) I do not do whatever the reason.

図2-11 親の権威

米国の親は子に寝室を貸し与えていると考えている。客用寝室が必要な時には、空けさせる。屋根裏など、条件の悪い所にある。

● アメリカの親の養育目標と養育態度

社会的的一致と多様性

幼児期 a. 意思表示させる→自己主張へ導く
b. マナーやリーダーシップなどの社会性

1. 他人へ自己主張できるようにする
- 2. ほめて自信をつけさすself-esteem(自尊心)
3. ルールにもとづいた躰け(→罰)
4. 子のために自己を見失なわない母親の態度
- 5. 親の権威が強い
6. 家の手伝いをすることで家族の一員
7. 父親の養育参加

0歳からの子ども部屋 欧米・他の調査結果より



ポーランド2歳(約3畳の狭い部屋)



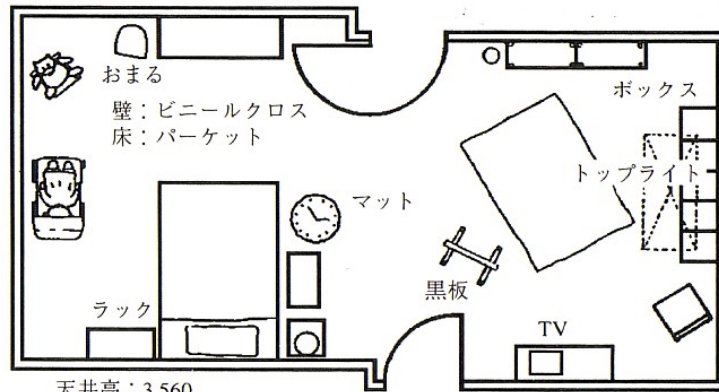
ドイツ2歳の子ども部屋



ドイツの2歳(男)

おむつを替える場所が設けられている

ベルギー屋根裏の専有室(3歳男)



天井高：3,560

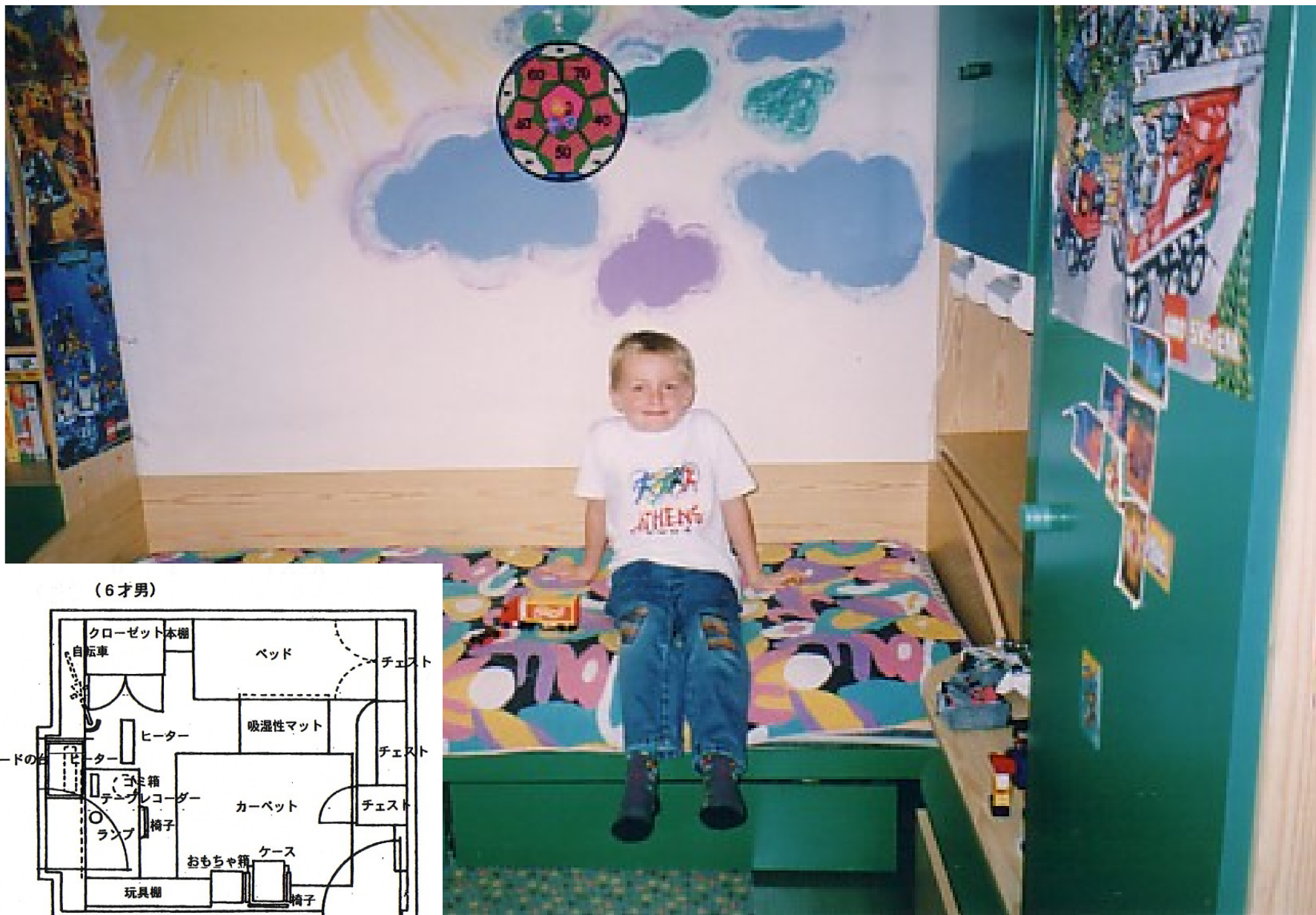
床面積：27.2m²





5歳のドイツ女の子の屋根裏の子ども部屋

ポーランドの6歳の子ども部屋



●親子関係の文化差

日本→自律の機会がない

<欧米>

個を認める(未熟な者)
子の責任を問う
親の権威強い
不満でも親に従う
親子の信頼関係を築く
子の心に寄り添う
ひとり就寝

<日本>

- ・親子密着(一心同体)
- ・子の責任は問わない
- ・親の権威弱い・仲良し親子
- ・不満なら従わない
- ・親は子を見守る・世話する
- ・子のプライバシー無い
- ・川の字就寝

◆欧米の「ほめる」子育て→ 馴れあいの甘さを許さない絶対服従の厳格さ
父性原理を背景としている

◆「ほめる」だけで備わった自信→ 傷つきやすい

ほめる ↔ 無視する

虚勢や嫉妬にかたちを変えやすい

● 子どもの精神面の成長とは？

M. Wolfe(環境心理学者)のプライバシーの研究(4歳~17歳)によると、社会での他者とのかわりにおいて**自分をまもり**(Ⅰ 独立した自己の獲得)、**他者を認める**(Ⅱ 社会的自己の獲得)ことが出来るようになること。

(プライバシーの概念)		自律を育む行為	physical and social qualities
Self-evaluation	(考えごとをする)	考えごとをする	aloneness
Self-identity		空想したり、ボーとする	quiet
		本を読む	no one bothering you
Desire to exercise autonomy	(空間への接近のコントロール)	誰も入ってこられない	a place that's mine
		あなたの許可なしに誰も入ってこられない	no one knows where it is or where I am
		入って来る人を選べる	
vis a vis		誰も入って来て欲しくない	
		特別な人だけが入って来てもいい	
Controlling access to the space		あなたが居る時に入って来て欲しくない	
		あなたが居ない時に入って来て欲しくない	
	大切なものをしまう		
	ポスターを貼る		
Autonomy component	(行動の選択)	したいことが自由に見える	It's my own place
Choice of activity		そこでしかできないことをする	I can be alone
		音楽やラジオを聴く	no one bothers me
		腹が立った時に行く	I can do what I want to do
		ひとりになれる	do
Privacy mechanism	(狭義のプライバシー)	着替えをする	a desire to be alone
Controlling information		手紙や日記を書く	doing a specific activity
		電話をする	no one bothers me
		寝る	no one knows what I'm doing
		勉強する	
		聞かれたくない話をする	
	見られたくないことをする		

自律 = 自我の確立

Autonomy(自律)とは the ability to make your own decisions without being influenced by anyone else.

幼児にも該当する行為

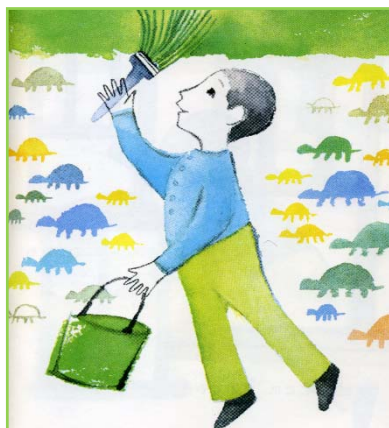
● 自律 (autonomy) = 自我の確立 + 親子の信頼関係

考え・空想し、ひとり寝の不安を克服する

空間のコントロールで個を守る

A ひとりで考え事・空想する

B 誰も入って来られないあなただけの場所



D ひとりで寝る

C 腹が立った時閉じこもる



子どもの心の成長とは？

I 自分をまもり、II 他者を認めることが出来る様になること

環境心理学者Maxine Wolfe

I. 自律(自分をまもる): 自我の確立

1. ひとりになれる空間がある

A1 考えごとをする (自分と向き合う)

A2 空想する (欲求不満からの解放)

→心の成長

D ひとりで寝ることで自分を克服(強くなる)

2. 空間を使って自分をまもる

B 大切なものをしまう(空間のコントロール)

→権利と義務

C 腹が立った時閉じこもる(したいことをする)

→行動と責任

○ 親子の信頼関係(子の心に寄り添う) →心の健全性

II. 共生(他者を認める): 違いを認める

●自律(ひとりになれる空間)

Aひとりで考え事をする、空想する

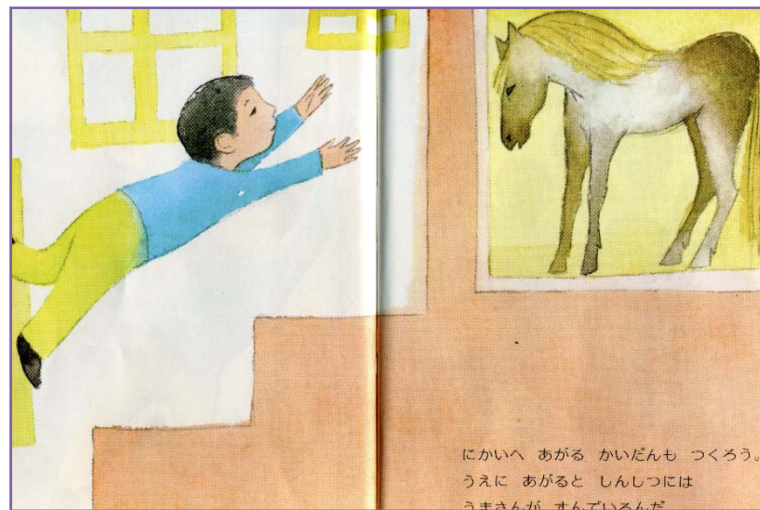
部屋の模様や色を考える selfidentity



あそびばのかべは まっしろにぬって
かめさんをいっぱいかくんだ
てんじょうは どのへやも みんな みどりいろさ

子どもの
自己主張を表現

にかいへあがる かいだんも つくろう
うえにあがるとしんしつには
うまさんが すんでいるんだ



おふろばを空色にぬりたいな
1956 米

● 自律(ひとりになれる空間)

Aひとりで考え事や空想をする、Dひとりで寝る

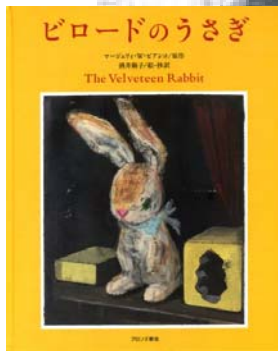
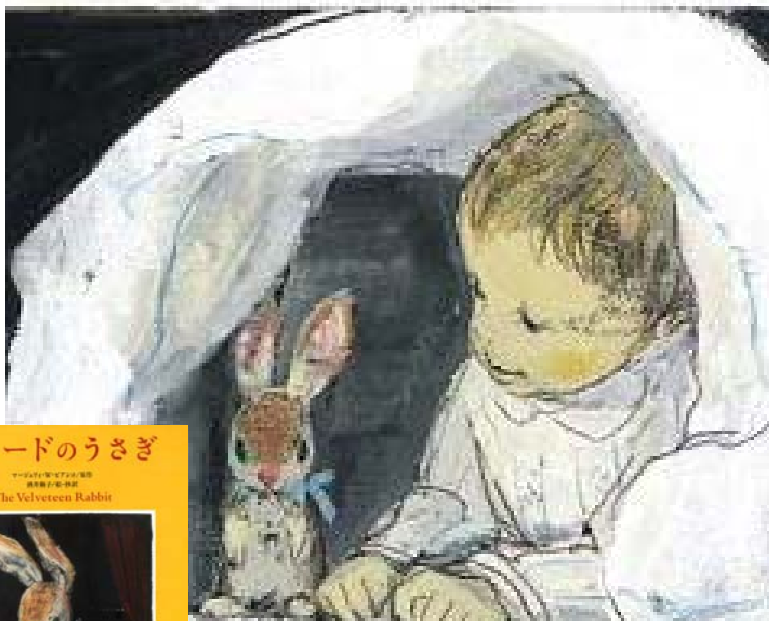
ぜったいぜったいねるもんか2007 英 → Bedtime-story



● 自律(空間を使って自分を守る)

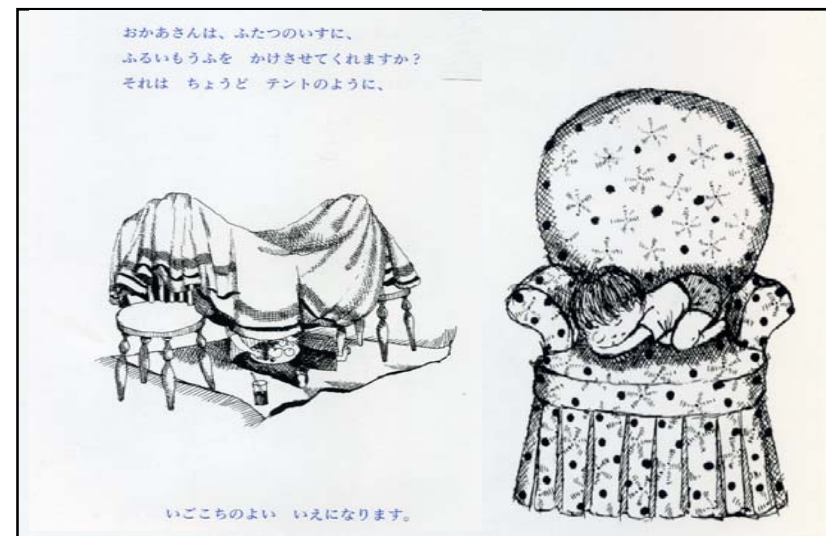
B誰も入ってこられないあなただけの場所、Dひとりで寝る

わたしのひみつのいえ



「ビロードのうさぎ」米1922

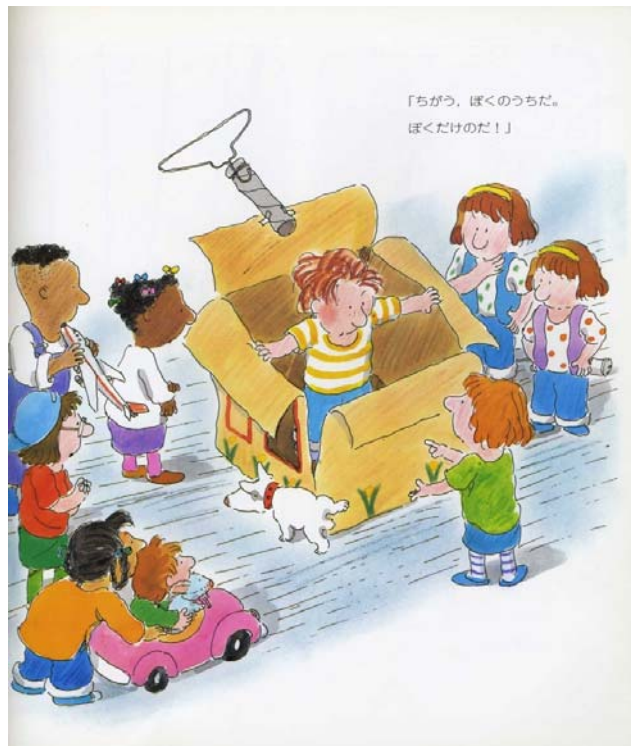
ちいさな子にも「あなただけの
ちいさいいえ」が必要 1954 米



● 自律(空間を使って自分を守る)

B 誰も入ってこられないあなただけの場所

自分だけのプライベートな空間として 他人の侵入を拒む



「ちがう、ぼくのうちだ。
ぼくだけのだ！」

はいっちゃだめ (英)1996



わたしの いぬも ここが すき。
いつも そばにきて わたしを べるべろ なめる。



テーブルのした(米) 1997

●自律(空間を使って自分を守る)

C腹がたった時に閉じこもって心を落ちつける

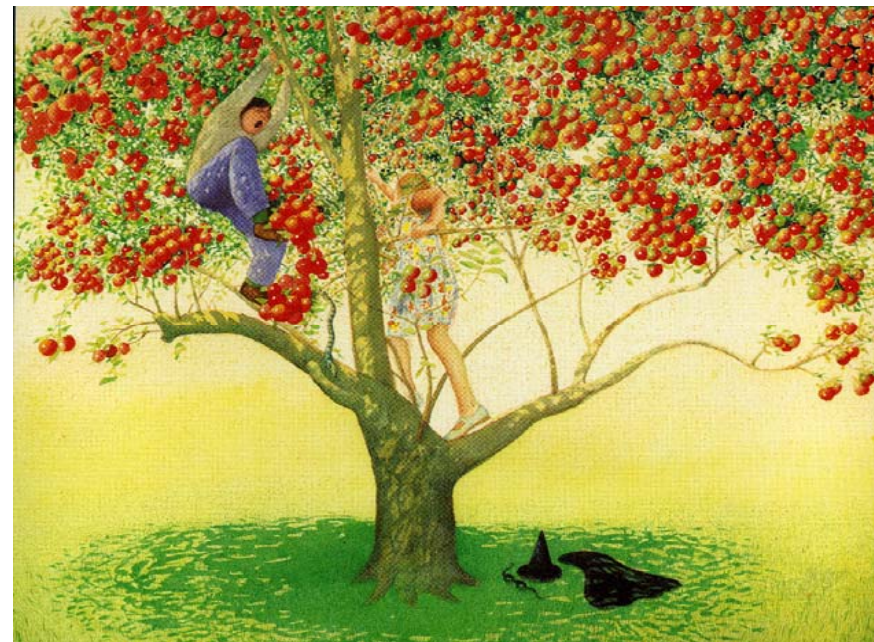


弱虫の自分とむ
きあい
強くなる

子ども部屋にこもっていた弱虫エリックが、ナイトシミーに助けられて元気になる



ナイトシミー 1991 英



●自律(空間を使って自分を守る)

C腹がたった時に閉じこもって心を落ちつける、D寝る



「ぼくはおこった」(英)1956



どうしてこんなにおこったんだろう、
でも アーサーには
さっぱり思い出せなかった

「ぼく どうしてこんなに おこったんだろう」
でも アーサーには
さっぱり おもいだせなかった

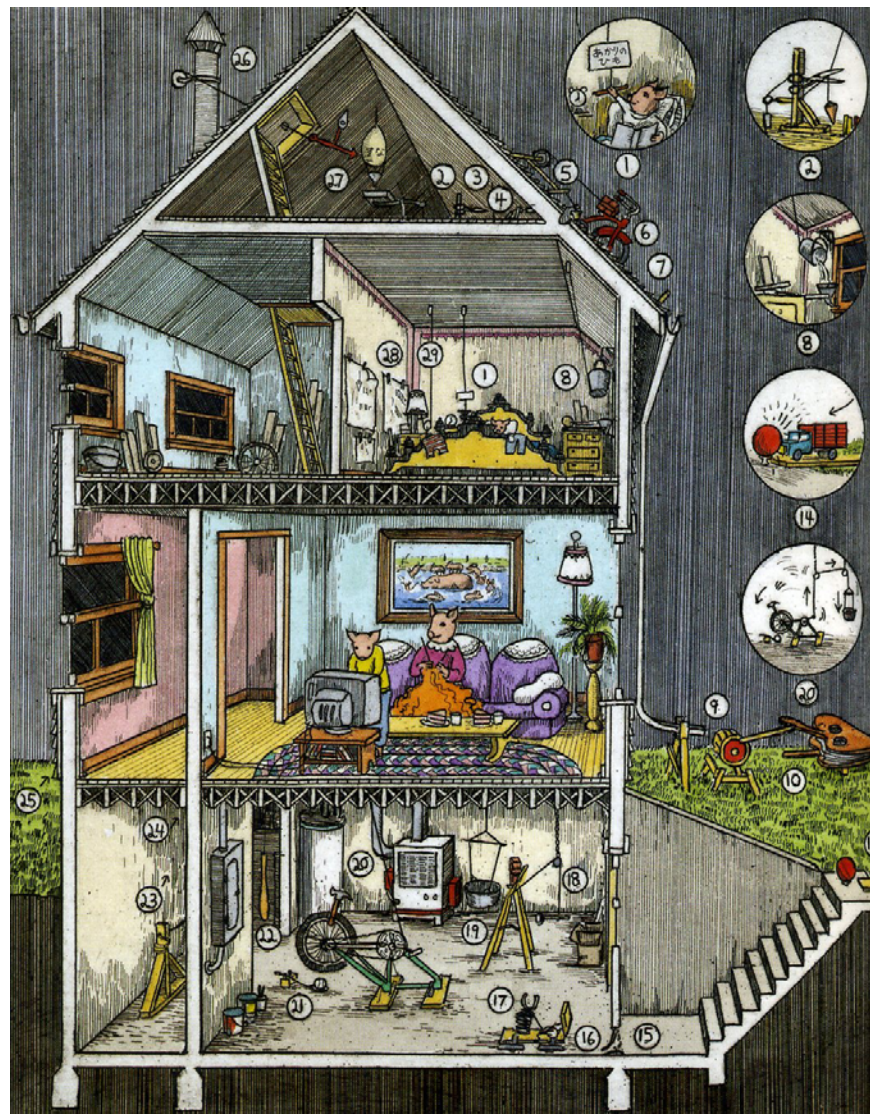
● 自律(空間を使って自分を守る)

C したいことが自由にできる、D ひとりで寝る



真っ暗な部屋では
こわくて眠れない
あかりが消えるまでに
時間がかかる
装置を考える
そこでしかできない
ことをする

あかりをけして 2005 米



D ひとりで寝る、(信頼関係) 子の心に寄り添う

個室でひとりで寝る



本を読んでもらう



ねんねだよちびかいじゅう！ 1996 仏

就寝時の
父子の触れあい

●自律+○親子の信頼関係

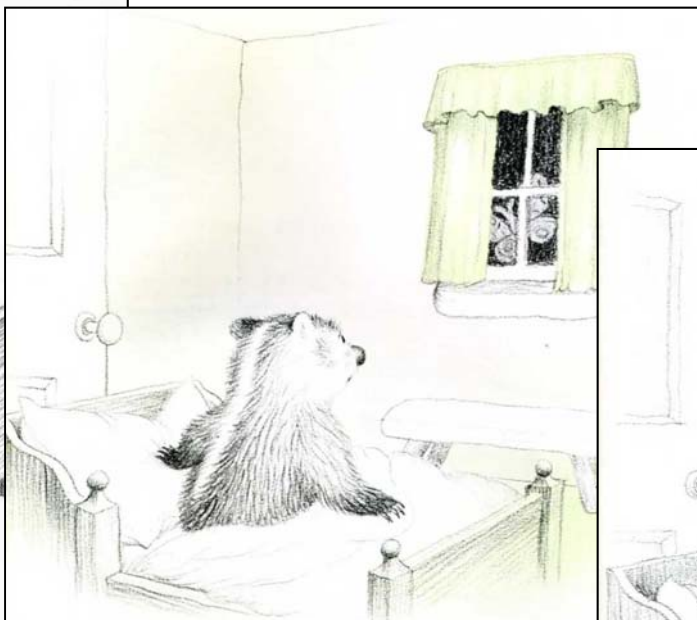
D ひとりで寝る、(信頼関係) 子の心に寄り添う

就寝時の父母との触れあい おやすみの挨拶 ひとりで眠る

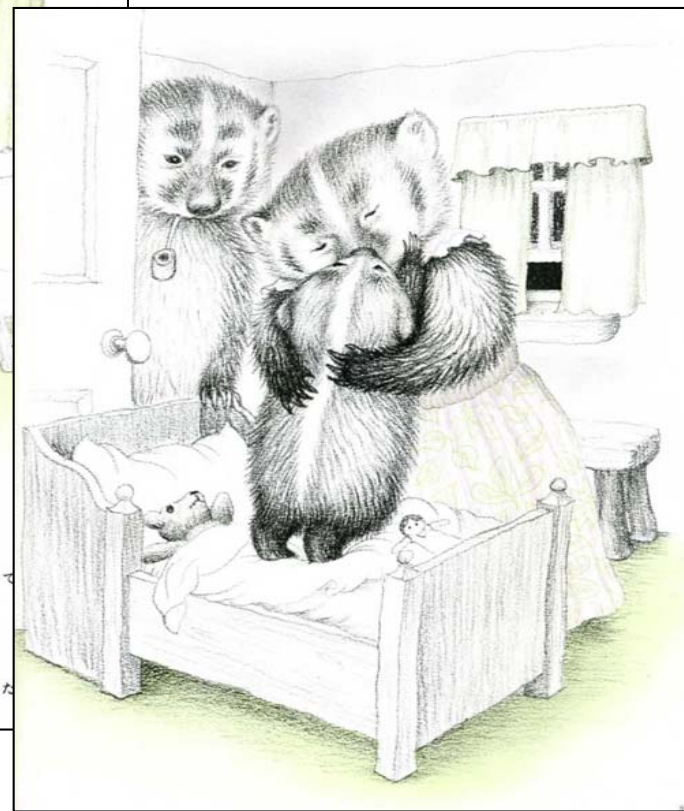
おやすみなさい フランス



ラッセル・ホーバン ふん ガース・ウイリアムズ
まつおかきょうこ やく



「もし、あれが、なにか とっても わるいものだったら、どうしたって
おとうさんに きてもらって、おっぱらってもらわなくっちゃ……」
フランスは もうふを あたまから ひきおろすと、
まどのそとが みえるように ベッドのうえに おきあがりました。
すると、いっぴきのかが まどに ふっつかっているのが みえました



風の音が 気になって眠れない子ども

おやすみなさいフランス 1960米

絵本にみられる自律と共生、親子の信頼関係

	住まいの絵本名	■自律 (ひとりになる)			(空間のコントロール)		◎信頼関係	■共生	空間との関係
		A1考え事をする	A2空想する	Dひとりで寝る	B大切な物をし まう・他人を入 れない	Cしたい事をす る・閉じこもる	子に寄り添う 親の心	他を認める	
AD ■自律 (ひとりになる)	おふとんかけて	●	●	●			●		
	ぜったいぜったいねるもんか	●	●	●	○	○	●		
	わたしまだねむたくないの	●	●	●	○	○	●		
	あと10ふんでねるじかん	●	●	●	○	○	●		
	ねない子ティップ	●	●	●	○	○	●		
	あたらしいおふとん	●	●	●	○	○	●		
	おふろばをそらいろにぬりたいな	●	●	●	○	○	○		
	もっかい	●	●	●	○	○	●		
	ケニーのまど	●	●	●	○	○			
	うちがいつけんあったとき	○	●	●	●	●			
BC ■自律 (空間のコントロール)	あなただけのちいさないえ	○	○		●	●	○		原則として 子どもの寝室 (生活の拠点)
	かいじゅうたちのいるところ	○	●	●	●	●	●		
	ナイトシミー	○	●	●	●	●	○		
	ぼくはおこった	●	○	●	●	●	●		
	あかりをけして	○	○	●	●	●	○		
	おやすみおやすみぐっすりおやすみ	○	○	●	●	●	●		
	ピロードのうさぎ	○	○	●	●	●	●		
	テーブルの下	○	○		●	●	○		
	ねんねだよちびかいじゅう	○	○	●	○	○	●		
	パパーッ!	○	○	●	○	○	●		
E◎信頼関係 (親子)	おやすみなさいフランス	○	○	●	○	○	●		
	ねむれないのほんただよ	○	○	●	○	○	●		
	パパおばけがいるよ	○	○	●	○	○	●		
	こわがりのかえるのぼうや	○	○	●	○	○	●		
	ベッドのしたになががいる?	○	○	●			●		
F ■共生 (他を認める)	ああうるさい						●		空間と関係なし
	おちやのじかんにきたとら						●		
	プルーとセバスチャン						●		
	おとなりさん						●		
	あそびにきてね						●		
	そらいろ男爵						●		
	せかいでいちばんつよいくに						●		
	あたらしいともだち						●		
ルピナスさん						●			

子ども部屋がない
日本の子は

どうしているのか？

住まいの絵本の分類

1. 家			2. 空間			3. 共生		4. 暮らし				5. 建築生産			6. 環境		
① 家とは	② 家族	③ シェルター	① 個の空間	② イメージ空間	③ 異空間	① マナー	② 共生	① 日常の暮らし	② 季節の変化	③ 暮らしの文化	④ 暮らしの歴史	① 設計施工	② 材料装備	③ 建築空間	① 居住環境	② 開発再生	③ インフラ地理環境

① 個の空間

みんなで仲よくする空間 1980年代

個の空間は日本ではみんなで仲良くする空間



「たろうのひっこし」1983 日本



「わたしのうち」日本1982



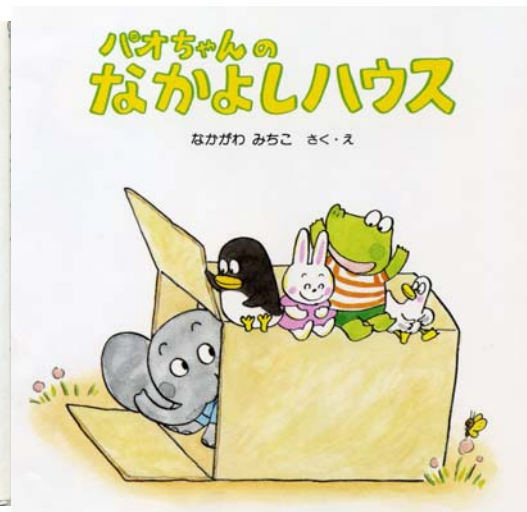
① 個の空間

みんなで仲よくする 1980年代

友だちを呼んできて
みんなで仲良くする空間



1995 日本



「はっぱのおうち」1989 日本



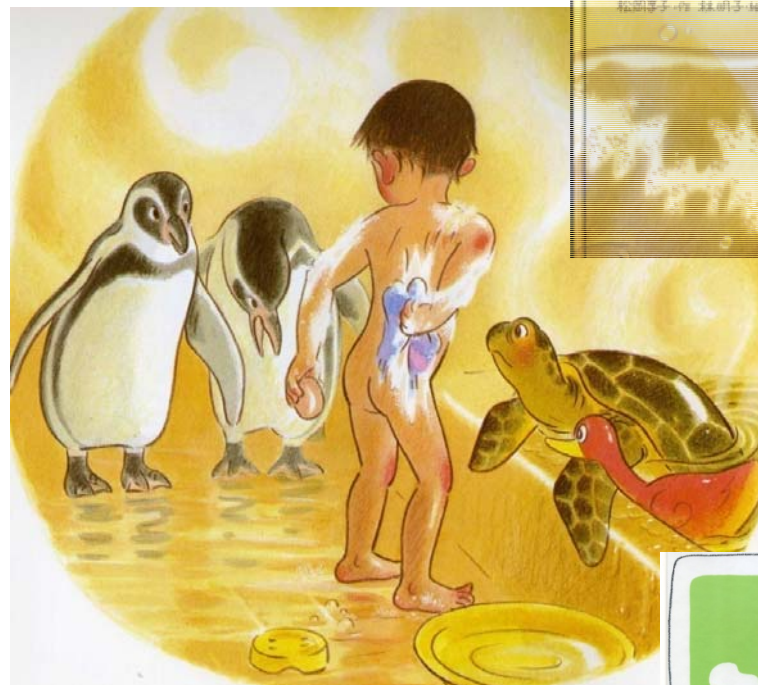
② イメージ空間

ひとりで考えごとをする空間 1980~2000年

ひとりになれるのは
トイレと入浴時(躰け)



トイレ作戦 日本 2006



お風呂だいすき 日本 1982



② イメージ空間

ひとりで考えごとをする空間 2007年

ひとりになった時→ 自由な発想が広がる



おふろ(日)2007



② イメージ空間

ひとりで考えごとをする空間

- ・ 祖父母の家に泊まった時
 - ・ 留守番した時
- ひとりになった時
(不安感・恐ろしさ)



おじいちゃんちでおとまり 日本 2006



へんてこりんなおるすばん 日本 2006

空間(子ども部屋)の役割とは？

(幼児～青年期)

子どもの心の成長を助ける道具

I. 自分をまもる(自律)→自我の確立

A ひとりで考え事・空想する

D ひとりで寝る

B 大切なものをしまう

C 腹が立った時閉じこもる

ひとりで考え事をする

空間を使って自分を守る

○ 親子の信頼関係(子どもの心に寄り添う) →心の健全性

・自律は +にも-にも働く

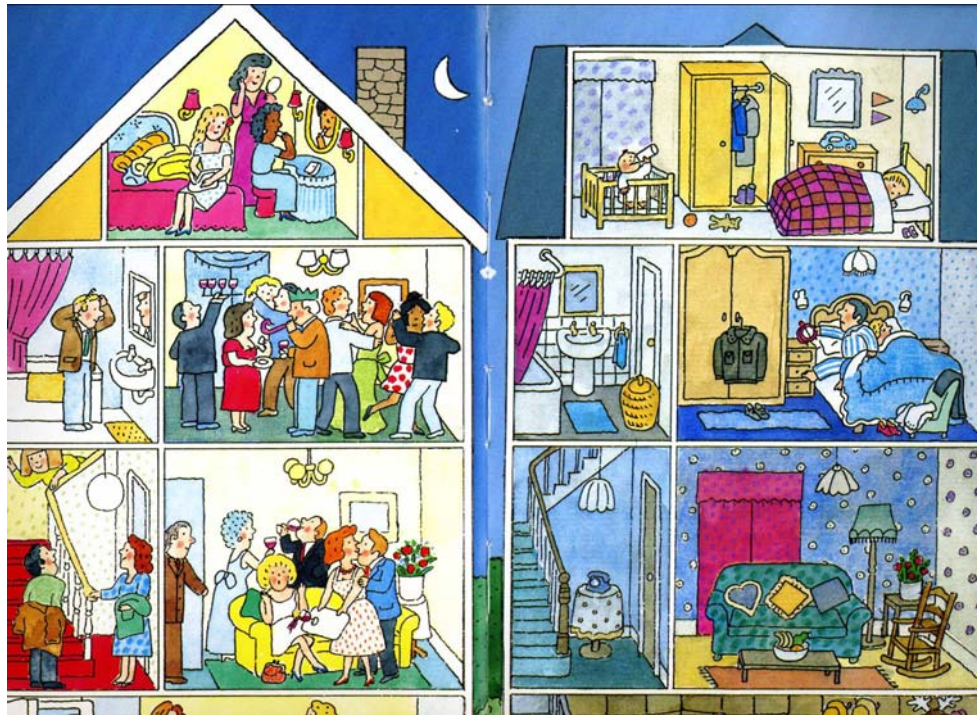
・空間のコントロール経験を通して「自分のまもり方」を学ぶ(B・C)

● 絵本からみえてくる 「他者」に対する視点

歴史的、社会的な文化差がある(農耕文化と狩猟文化)

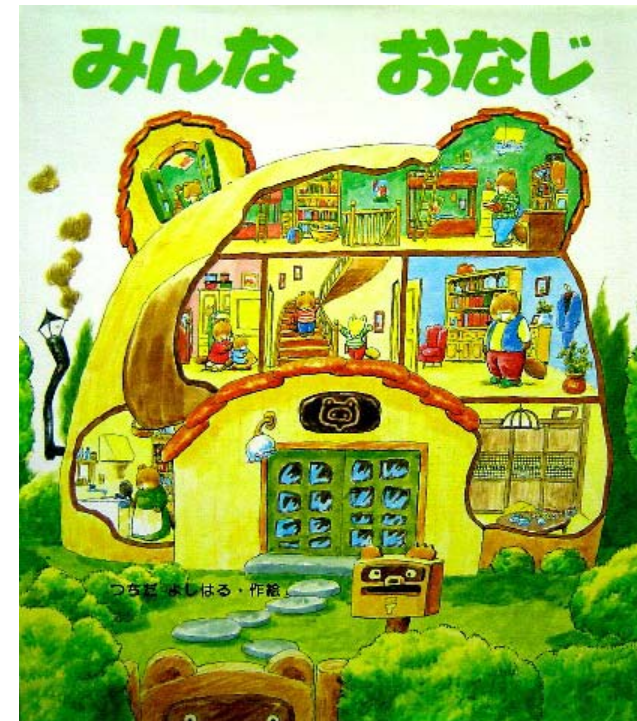
「違いを認める」

「みんな同じ」



あそびにきてね 1993 米

欧米:暮らしは異なる→ 共生



1991 日

日本:暮らしは同じ→ 協調性
同調圧力→いじめ

■ 共生

人と人の関係 → 違いを認めるところから
スタートする必要がある



ああうるさい(英)1990

■ 共生

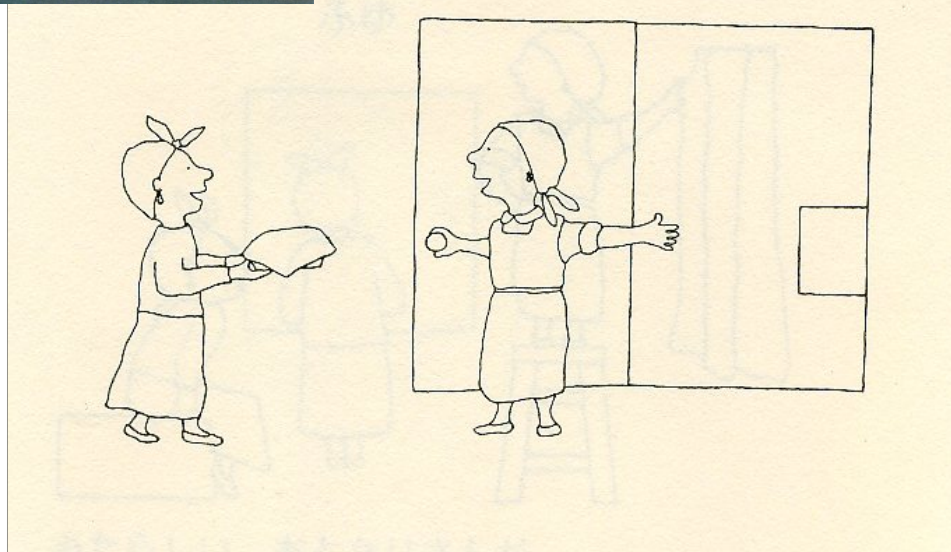
欧米社会 違いを認める所から始まる



人と人の関係のつけ方



相手をおもいやる心



おとなりさん(米)1979



プルーとセバスティアン(仏)1987

■ 共生

自分たちの基準をあてはめていない

社会の基準が「違いを認める」所から始まる

相手をおもいやる心 → 異文化の人との交流



おちゃの時間にきたとら(英)1968



●親子関係の文化差 日本の子ども→自律の機会がない

<欧米>

個を認める(未熟な者)
子の責任を問う
親の権威強い
不満でも親に従う
親子の信頼関係を築く
子の心に寄り添う
ひとり就寝

<日本>

- ・親子密着(一心同体)
- ・子の責任は問わない
- ・親の権威弱い・仲良し親子
- ・不満なら従わない
- ・親は子を見守る・世話する
- ・子のプライバシー無い
- ・川の字就寝

●「～しながら」ではなく、子どもにまともに対応する必要があるのではないか。
ex.家事をしながら子どもの相手ができる設計？

まとめ - 子ども部屋とは

子どもの心の成長を助ける道具。(使い方を教える)

子ども部屋って何をする所？

● 自律に向けて、子どもの心の成長を育む場所 ← 空間

- ・ ひとりで考え事や空想をする
- ・ 心を静め自分とむきあう、自分だけの場所
- ・ 空間をコントロールできる(入って欲しくない時)
- ・ 腹を立てた時や悲しい時に、閉じこもれる
- ・ ひとりで寝る恐さや不安を克服する
- ・ 親子の信頼関係を築く *bedtime-story*

◆ 川の字就寝のメリットとデメリット

■ 他者を見とめる(共生) ← 空間と関係なし

● 幼児期からの寝室空間
生活習慣として定着させる

ex. 押し入れ子ども室



- ・ひとりになって考える
- ・冷静になる時間と場所がもてる
- ・ひとりで寝る「自信」の獲得

- 褒めるだけで備わった「自信」
 - 傷つきやすい
 - 虚勢や嫉妬にかたちを変えやすい
 - 「褒める」←→「無視する」
- キレやすい (兄弟、親子間の喧嘩)
 - ひとりになりにくい現実 ← スマホ・メール
 - ひとりで冷静になって考える場所がない